

ハーモザイム

さとうきび

沖縄県 (2016年)

試験場所：沖縄県読谷村

品種名：RK9714

処理：①浸漬200倍(1hr) ②同(2hr)

③覆土前灌注500倍 50L/10a

④覆土前灌注250倍 50L/10a

⑤発芽揃い後葉面散布2000倍 200L/10a

⑥無施用区

栽培環境：夏植え

土質：島尻マージ

2016	植付	発芽	2017	
9/27	浸漬	散布	中間調査	収穫調査
①~④	灌注	10/12 ⑤	8/2	12/5

試験結果

● ハーモザイムの散布タイミングを変えた栽培テスト



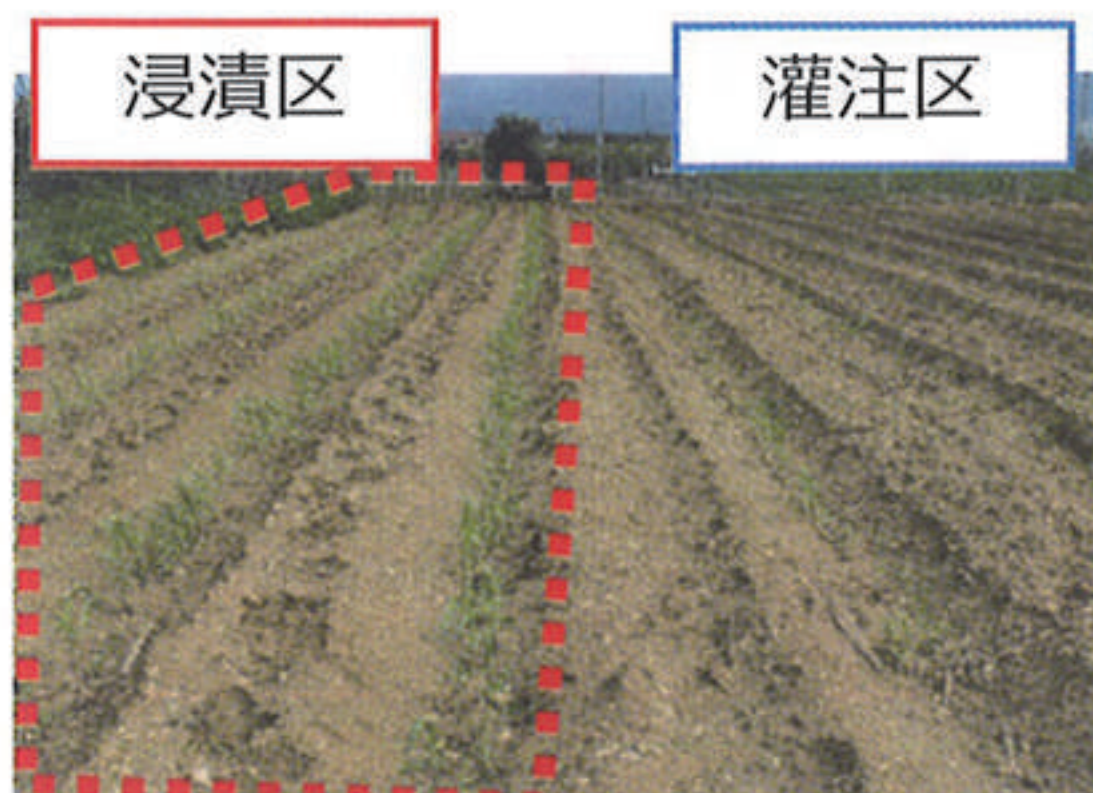
二芽に調整された苗



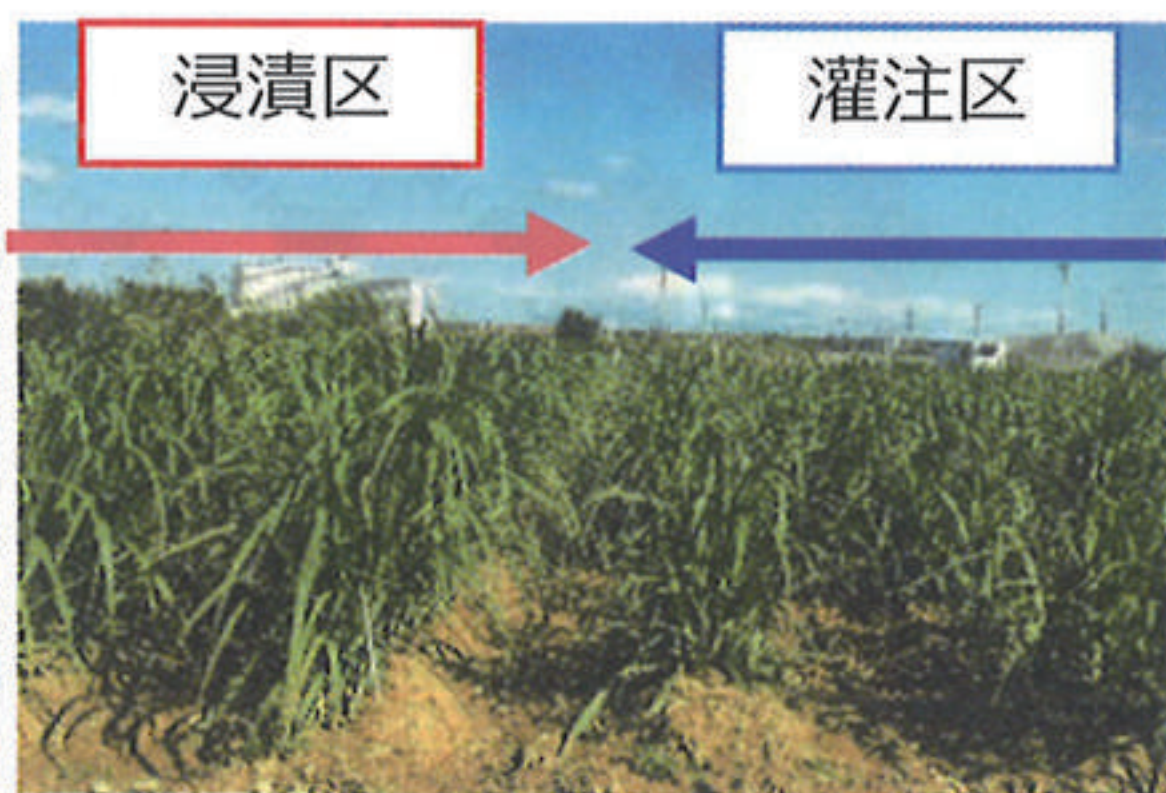
浸漬処理



覆土前灌注

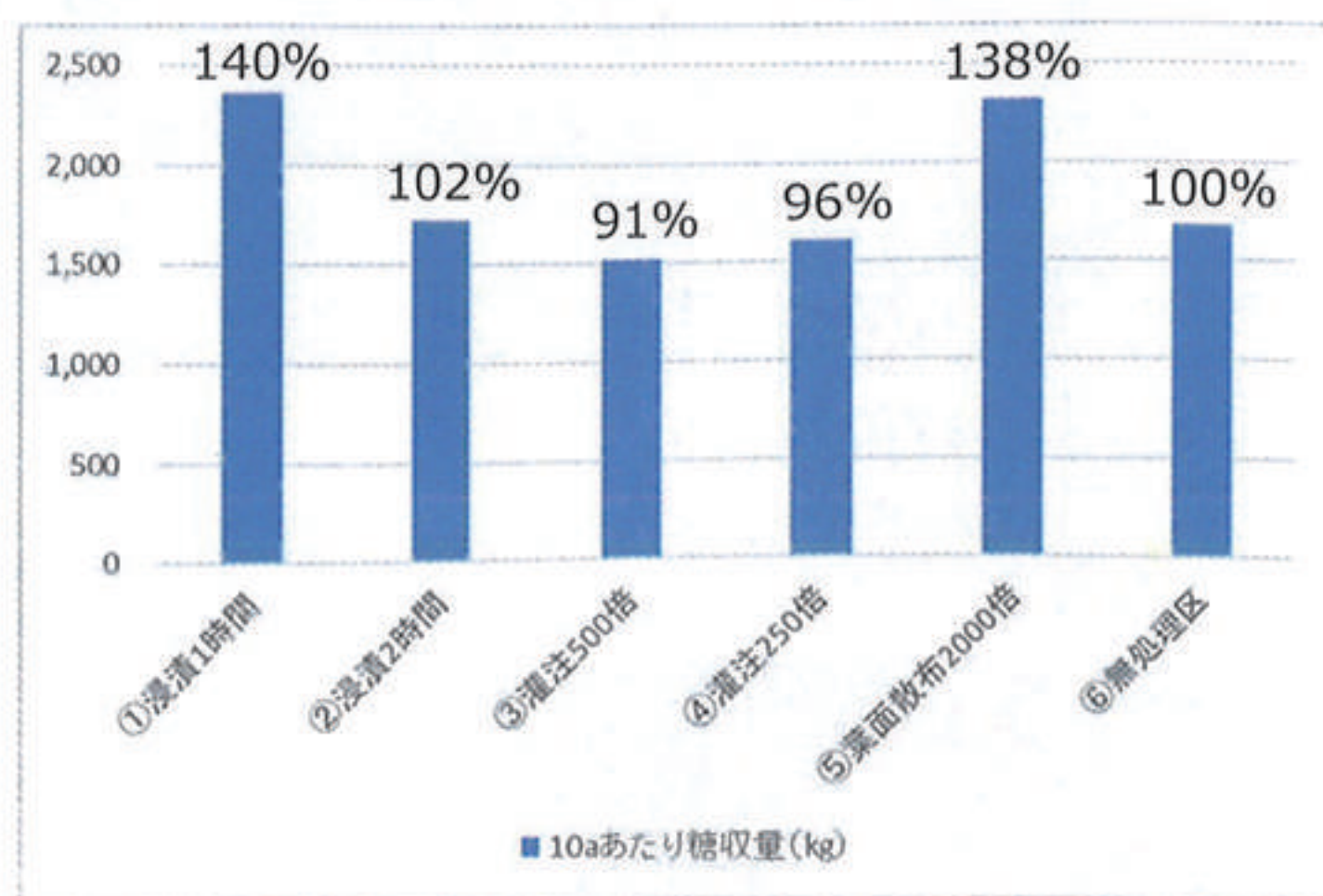
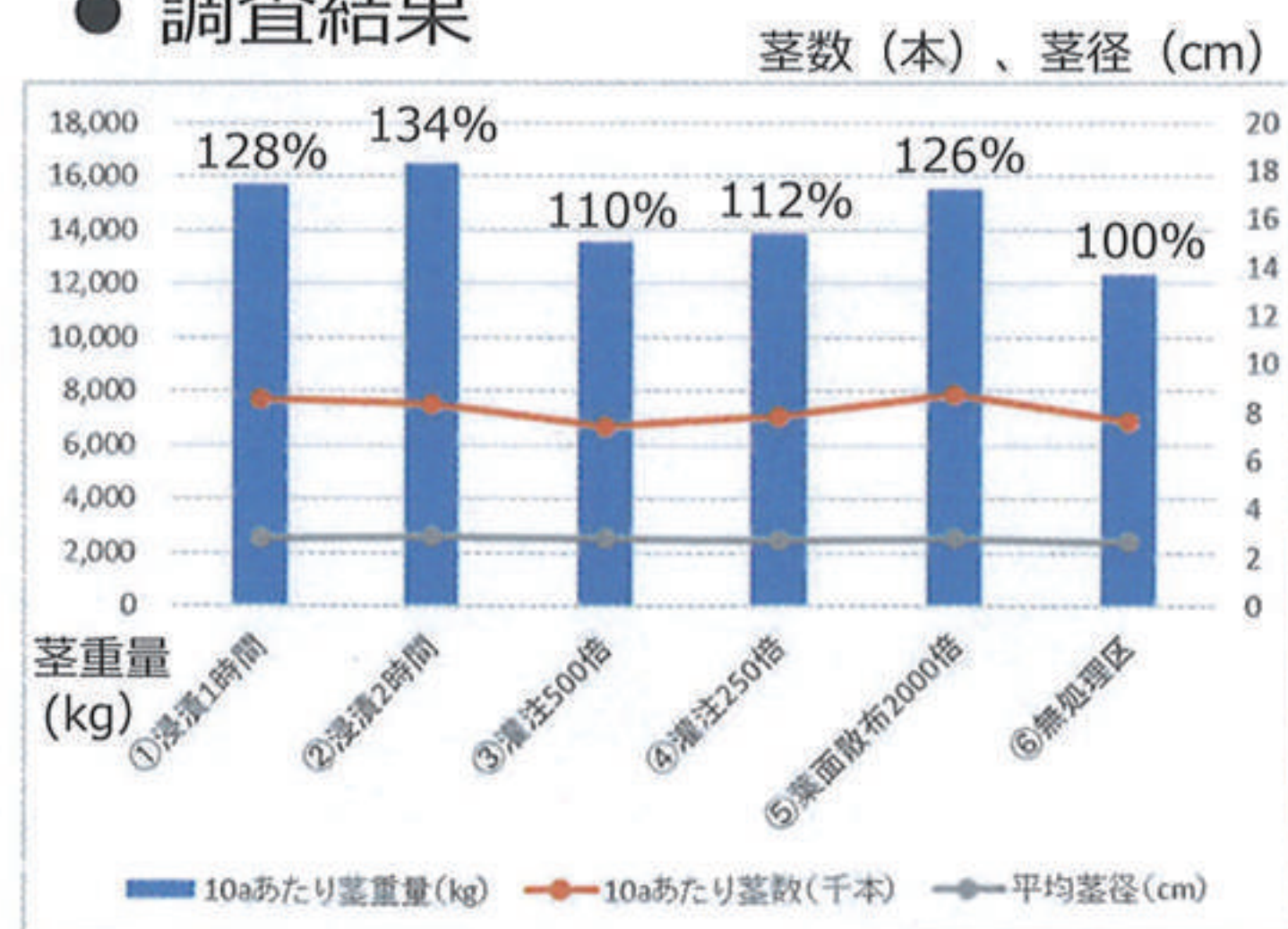


発芽揃い時（葉面散布）



初期生育の差 (2017年5月頃)

● 調査結果



● 考察

- 苗の浸漬処理および発芽揃い時の葉面散布処理の区が茎重量が多く、収穫時の糖量比較でも同様の傾向であった
- 浸漬区は初期生長に優れている。浸漬時間は1時間が良好
- 糖増収の要因は、主に茎数の増加によるものであろう